

岡田美知代、終戦小説家。明治十八年四月十日廣島縣生れ、昭和四十三年一月十九日没（二八五—九六）。本名ミチ子。筆名みちよ、岡田刈萱、岩谷敏雄、兼女史、永代みちよ、永代美知代、田山みちよ、美知代。神戸女學院公學び、明治二十七年上京。田山花袋公師事して、雑誌『文章世界』、『女子文壇』等の小説を發表。のち『主婦之友』記者となり、アメリカに渡りて彼の地で結婚。終戦直前に歸國。譯書、ストウ夫人作『奴隷トム・ヤングル・トムス・ケビン』（永代美知代名、大正十一年十一月八日誠文堂）、『デナ・マリヤ・ミエーラツク作』、『ジョン・ハリ愛と眞實』（同、大正十二年五月二十一日誠文堂）『愛の學校叢書』等。

